



神奈川大学フロンティアクラブ 特別講演会



演題

「水泳部監督として歩んだ21年間」

— 弱小水泳部が日本一になった奇跡 —

2/26(土) 15:30 ~ 17:00 オンライン配信 申込はこちらから



日本学生選手権女子シード権獲得から10年、
日本一を二連覇し、名実ともに強豪校となった水泳部。
それは奇跡といっても過言ではありません。

大学水泳界は伝統校といわれるチームが長年にわたり君臨しているスポーツです。

ソフト面・ハード面、全てにおいて準備された大学に、
当時、大学水泳界で全くの無名であったチームがどのようにして日本一を獲得していったのか、水泳部が取り組んできたことを紹介していきます。

講師

神奈川大学水泳部監督 舟橋 道成 氏 平成7年国際経営学科卒業

1990年3月 私立名古屋学院高等学校卒業（現名古屋高等学校）

同高校水泳部・イトマンスイミングスクール鯨所属（国体4位）

1995年3月 神奈川大学経営学部国際経営学科卒業

同大学水泳部所属（関東学生選手権4部リーグ優勝）

1995年～2000年 会社を退職し、スポーツクラブでパーソナルトレーナーとして働く

2000年4月 日本体育大学大学院トレーニング科学系入学

神奈川大学水泳部監督就任（現在に至る）

2002年3月 日本体育大学大学院トレーニング科学系修了

2003年4月 神奈川大学非常勤講師・他大学にて非常勤講師（現在に至る）